

「認知症ケアパス」 主要関係機関一覧表



連絡先	電話番号
地域包括支援センター（すこやかセンター伊野内）	893-0231
ほけん福祉課 高齢福祉係・健康づくり係 （すこやかセンター伊野内）	893-3810
吾北総合支所 住民福祉課	867-2300
本川総合支所 住民福祉課	869-2112
総務課	893-1113
伊野公民館	893-2012
いの町社会福祉協議会（すこやかセンター伊野内）	893-0515
いの町社会福祉協議会（本川保健福祉センター内）	869-2071
いの町あったかふれあいセンター （すこやかセンター伊野内）	893-5920
いの町シルバー人材センター	893-2322
認知症疾患医療センター 高知鏡川病院	833-5012
認知症コールセンター	821-2818

わが家の困ったときの連絡先

地域包括支援センター、かかりつけ医、ケアマネジャーなどいざというときの連絡先をメモしておきましょう。

.....

.....

.....

平成30年度版

知ってあんしん 認知症ガイドブック （認知症ケアパス）

医学監修：えんどう ひでとし 遠藤 英俊 国立長寿医療研究センター
内科総合診療部長



この冊子は、認知症の方とそのご家族が少しでも安心して暮らせるように、認知症の進行状況に応じて、どのようなサービスや支援を利用できるのかを「認知症ガイドブック」（認知症ケアパス）としてまとめたものです。

このガイドブックを活用し、認知症について理解していただくとともに、認知症になっても、住み慣れた地域でできる限り自分らしい生活を送っていただければ幸いです。

いの町ほけん福祉課
TEL.088-893-3810



認知症ってどんな病気？



認知症は、アルツハイマー病や脳血管の障害により、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることにより、日常生活に支障がある状態のことをいいます。原因となる病気はいくつかありますが、誰にでも起こりうることを理解しておきましょう。加齢によるもの忘れや心の病気と混同されることもあるので、心配なときは、医療機関を受診しましょう。

認知症の症状

認知症の症状はさまざまですが、**中核症状**と**周辺症状**の2種類に分けられます。

中核症状は記憶や判断力、時間や場所の認識などの認知機能が損なわれる認知症本来の症状です。

- ものごとを思い出せない、覚えられない。「記憶障害」
- 時間や場所が分からなくなる。「見当識障害」
- 判断力、理解力、思考力などが低下。 等

周辺症状は中核症状をもとに本人の性格や周囲との関わり方、環境などが関係して引き起こされる症状です。「徘徊」や「ものとり妄想」などは「周辺症状」です。

- 徘徊 ●妄想 ●不安 ●幻覚 等

認知症のサイン

- ☐ 同じ事を何度も言ったり聞いたりする
- ☐ 置き忘れ・紛失が多くなった
- ☐ ものの名前が出てこなくなった
- ☐ 季節に合わない服装をしている
- ☐ 着替えや身だしなみ、入浴などを面倒くさがってやらなくなった
- ☐ 調理などを順序立てて行うことができなくなった
- ☐ 日課をしなくなった
- ☐ ささいなことで怒りっぽくなった
- ☐ お金の支払いができなくなった
- ☐ 薬の飲み間違いが増えた

等

周辺症状はこうにあらわれます

財布をしまった場所が思い出せない
「記憶障害」(中核症状)

私がなくすわけがない。
普段部屋に入るのは世話をしてくれる娘だけだ。

娘が盗んだと思い込む
「妄想」(周辺症状)



どこに置いたっけ。

また置き忘れ？
もしかして認知症！？

財布がない。



医療機関の受診については P.8 へ

試してみよう！

大友式認知症予測テスト

このテストは、ごく初期の認知症や認知症に進展する可能性のある状態などを、ご自分や家族が簡単に予測できるように考案されたものです。

質問項目	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返すことがある	0点	1点	2点
知っている人の名前が思い出せないことがある	0点	1点	2点
物をしまった場所がわからなくなることがある	0点	1点	2点
漢字を書くときに思い出せないことが多くなった	0点	1点	2点
今しようとしていることを忘れてしまうことがある	0点	1点	2点
以前に比べ器具の取扱説明書を読むのが面倒になった	0点	1点	2点
理由もなく気分が落ち込むときがある	0点	1点	2点
以前に比べ身だしなみに興味がなくなった	0点	1点	2点
以前に比べ外出する気がおこらなくなった	0点	1点	2点
物(財布)が見つからず、誰かがどこかへやったと思うことがある	0点	1点	2点

0～8点	問題なし	もの忘れも老化現象の範囲内。疲労やストレスによる場合もあります。8点近かったら、気分の違うときに再チェック。
9～13点	要注意	家族に再チェックしてもらったり、数カ月単位で間隔を置いて再チェックを。認知症予防策を生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。
14～20点	要診断	認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら、専門医や担当地域包括支援センターに相談を。

医学博士：大友英一氏(社会福祉法人浴風会病院名誉院長) (認知症予防財団HPより)

早期発見・早期治療が大切です

早期発見による3つのメリット

- ①認知症の原因になる病気はさまざまですが、早い段階で治療を始めれば改善が期待できるものもあります。
- ②悪化する前の早期の対応により、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。
- ③症状が軽いうちに本人と家族が話し合うことで、本人の意思を反映された今後の生活や介護サービス等について余裕をもって考えることができます。

受診するときのポイント

認知症の症状の現われ方には個人差があります。医師の前では特に症状が出ず、しっかりと受け答えができる場合もあります。かかりつけ医や専門医に相談する場合には、日頃からどういう症状が出ているかなど、気づいた変化や症状についてメモしておく、受診時にスムーズに伝えることができます。



認知症の方との接し方



認知機能が低下することで、いろいろなことが分からなくなっているようでも、その人らしさや感情がなくなっているわけではありません。介護者を悩ませる周辺症状の多くを関わり方次第でやわらげることができます。

ポイント ① 気持ちに寄り添い 自尊心を傷つけない

一見理解できない行動にも本人なりの理由があります。頭ごなしに否定したり怒ったり、または子ども扱いしたりすると自尊心を傷つけてしまい、その出来事自体は忘れても「いやな思いをした」という感情だけは残ってしまいます。

本人の気持ちを理解するように努めて、その気持ちに寄り添った対応を心がけましょう。



まずは「そうですね」と一度受け入れることから始めましょう。

ポイント ② 本人のペースに合わせる

認知症になっても、ゆっくりであればできることも多いので、本人の様子をよく見て、焦らせたり急がせたりしないようにしましょう。

また、一度にたくさんのことを言うと認知症の方を混乱させてしまいます。ゆっくりとシンプルに、分かりやすく伝えることを心がけましょう。



環境が変わることは症状を悪化させると言われています。なじみの環境を保つことも大切です。

ポイント ③ 笑顔でにこやかに接する

理解はできていなくても表情や感情は伝わります。笑顔で接することで認知症の方も安心できます。

多少困った行動をとっても、なるべく笑顔で接するよう心がけてください。



認知症の方の抱える不安をやわらげ、さびしい思いをさせないためにスキンシップも大切です。

記憶力や判断力などに障害があっても、感情や心をなくしたわけではありません。重要なのは「本人は今、どのような思いなのか」「この行動の裏にはどのような思いがあるのか」と本人の気持ちを察して対応することです。

認知症の介護に絶対はありませんし、今日うまくいった対応が明日もうまくいくとは限りません。「こうすべき」「こうしてはいけない」と思い込まず、介護者自身も穏やかな気持ちで過ごせるような介護を目指しましょう。

対応例

事例 ごはんを食べてないと言い出す

認知症の方の心の声

「おなかが空いた。」
「何も食べてない。ごはんはまだかな？」



食事を食べたことを忘れたり、おなかの空き具合を感じづらくなったりしています。また、さびしさを感じているなど心理的要因による場合もあります。

望ましい接し方

否定したりせず、ひとまず受け入れて様子を見ましょう。「この番組が終わったら作るね。」などと他のことで気をそらしたり、「これでも食べて待ってね。」と小さなお菓子や飲み物などを出してあげるのもよいでしょう。

こんな対応は避けましょう

「さっき食べたでしょ！ 忘れたの!？」
「ちゃんと食べさせてるでしょ!？」

事実を説明したり、しかつても本人は納得できず、反感を持たせてしまいます。何度も言うてきても、やさしく対応するよう心がけましょう。

事例 財布が盗まれたと言い出す

認知症の方の心の声

「なくなるはずない！
誰かに盗られた！」
「盗めるのは
○○○しかいない。」



本人がしまい場所を忘れているだけの場合がほとんどですが、その自覚がありません。普段お世話をしている身近な人ほど疑われてしまいます。

望ましい接し方

疑われることはショックかもしれませんが、怒ったりせずに一緒に探してあげましょう。「私はここを探すから、あのあたりを探してね。」などと誘導して本人が見つけれられるようにしましょう。見つかったら「よかったね。」と一緒に喜んであげましょう。

こんな対応は避けましょう

「どこかにしまい忘れてるんじゃないの!？」
「ほらここにあるじゃない!？」

反論してもかえって妄想を深めてしまいます。また、探した人が見つけると、隠していたと疑われてしまいます。見つかったときに責めることも感情的なしこりを残すので避けましょう。

できなくなったことよりも、できることに目を向けましょう

認知症によってうまくできないことは増えていきますが、過剰な手助けは残された機能を使う機会を奪うことになり、認知症の進行につながります。

現在できることをできるままにするためにも、認知症の方が今、どこまでできるのかを見極めながら、時間がかかっても自分でできることは、なるべく自分でしてもらいましょう。



認知症の方とご家族へ、適した時期に適切な情報とサービスを提供します

認知症の症状に応じた対応・支援体制を認知症ケアパスといいます。認知症を引き起この様子により大まかな状況を把握していただき、今後を見通す参考としてください。表地域包括支援センターへご相談ください。

す疾患や身体状況などにより、必ずしもこの通りになるわけではありませんが、ご本人は、右に行くほど認知症が進行していることを示しています。認知症に関することは、

認知症の段階 本人の様子 認知症の方や家族を支援する体制	認知症はない		初 期		中 期		後 期	
	健 康	MCI（軽度認知障害）		症状はあっても 日常生活は自立	見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助けや 介護が必要	常に介護が必要	
		年齢相応のもの忘れ	認知症の疑い					
	自 立	・もの忘れは多少あるが、日常生活は自立している	・気になるもの忘れはあるが、お金の管理や買い物、書類作成など日常生活は自立している ・同じことを言う	・同じ物を買う、書類作成や小銭の計算を間違うなどミスが始まる ・薬の飲み忘れや火の消し忘れが多くなる ・趣味をやめるなど意欲が低下する	・買い物やお金の管理などこれまでできていたことにミスが目立つ ・服の着方が不自然 ・服薬管理ができない ・電話応答や留守対応がひとりでは難しくなる	・着替えや食事、トイレなどがうまくできない ・遠くに住む子供や孫がわからなくなったり、親しい人がわからなくなったりする	・日常生活のほとんどに介護が必要になる ・会話などのコミュニケーションが難しくなる	・ほぼ寝たきりで日常生活のすべてに介護が必要になる ・意思の疎通が難しくなる
ご自身や家族で やっておきたいこと 決めておきたいこと	□認知症予防のことを学ぶ機会を持ちましょう。 □最低でも1日1リットルを目安に水分摂取を心がけましょう。 □肉・魚・卵などの「たんぱく質」を毎食摂り、低栄養予防をしましょう。 □散歩など無理のない運動習慣を身に付けましょう □生活習慣病予防または治療で大病をしないようにしましょう。 □地域の方との交流を持ちましょう。		□認知症や介護、介護保険のことを学ぶ機会を持ちましょう。 □かかりつけ医を持ちましょう。 □今後の生活設計について考えておきましょう。 □消費者被害に注意しましょう。 □火の元に気をつけ火災報知機をつけたり電磁調理器に変えたりすることを考えましょう。 □家族の連絡先を分かるようにしておきましょう。		□1人で抱え込まずに相談できる仲間を作りましょう。 □認知症の人は、他人の前ではしっかりしても、身近な人の前では症状が強くなることもあります。どんな医療や介護サービスがあるかを知って、介護サービスを利用し、がんばりすぎない介護を心がけましょう。 □認知症を隠さず、身近な人に伝え、理解者や協力者を作りましょう。		□介護する家族自身の健康や生活も大切にしましょう。 □今後のことについて検討し、必要に応じて施設の情報収集などを行っておきましょう。 □人生の最期をどう迎えるか早い段階で医師などと話をしておき、こういった対応が必要か確認しておきましょう。	
相 談 (8ページ)	地域包括支援センター ほけん福祉課（高齢福祉係） 認知症地域支援推進員 認知症 初期集中支援チーム ケアマネジャー（介護支援専門員） 認知症のコールセンター							
医 療 (8ページ)	認知症疾患医療センター こうちオレンジドクター かかりつけ医 かかりつけ薬局							
予 防 交 流 (9ページ)	介護予防事業(るんるん若ガエル体操グループ・認知症予防料理教室) ミニデイサービス・サロン あったかふれあいセンター 生きがい活動支援通所事業 老人クラブ 公民館及び集会所活動・サークル活動 シルバー人材センター 介護予防・生活支援サービス事業							
生活支援 (9ページ)	認知症サポーター養成講座 緊急通報システム(安心ネットワーク) いの町徘徊高齢者等位 置探索システム端末機貸与事業・いの町徘徊高齢者等家族支援事業 老人福祉電話設置 民生委員・児童委員 老人クラブが行う友愛活動 要配慮者・避難行動要 支援者名簿への登録 「食の」自立支援事業(配食サービス) 介護タクシー デマンド式乗合タクシー 町営バス 過疎地有償運送 成年後見制度							
介 護 (11ページ)	詳しい内容については、地域包括支援センターにお問い合わせください。また、平成27年度 全戸配布の「みんなのあんしん 介護保険 わかりやすい利用の手引き」もご参考ください。 居宅介護住宅改修の支給 福祉用具の貸与費 及び購入費の支給 通所介護(デイサービス) 通所リハビリテーション(デイケア) 小規模多機能型居宅介護 居宅療養管理指導 訪問リハビリテー ション 訪問看護 訪問介護 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショート ステイ） グループホーム 介護老人保健施設 訪問入浴介護							
家族支援 (11ページ)	認知症カフェ 在宅高齢者等紙オムツチケット交付事業 家族介護支援金支給							
住まい (11ページ)	住宅改造支援事業補助金 シルバーハウス 生活支援ハウス 朝霧荘 軽費老人ホーム(ケアハウス) (高齢者向け優良賃貸住宅・サービス付き高齢者向け住宅) 養護老人ホーム							

「認知症ケアパス」の支援内容

各項目の問は問い合わせ先を表します。

問い合わせ先については、裏表紙の主要関係機関一覧表をご参照ください。

相 談

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の方々に、健康・医療・介護・福祉など総合的に支援する相談窓口です。

いの町ほけん福祉課（高齢福祉係）

高齢福祉及び介護保険についての申請及び相談を受け付けています。

認知症地域支援推進員

認知症疾患医療センターを含む医療機関や介護サービス及び地域の支援機関との連携を図り、認知症の人やその家族を支援する相談業務等の活動を行います。地域包括支援センターに配属されています。

認知症初期集中支援チーム

地域包括支援センターにチーム員を配属し、専門医と医療・介護福祉の専門職（看護師、社会福祉士、介護福祉士、保健師など）の連携により、早期に専門医療機関の受診・治療につなげ、適切な医療や介護が受けられるよう支援します。

ケアマネジャー（介護支援専門員）

介護サービス全般を支援する専門職です。利用者の自立度を見極めながら、利用者・家族の希望や心身の状態にあったサービスが利用できるよう、ケアプランの作成からサービス事業所との連絡・調整を行う役割を担います。詳しくは、下記へご相談ください。

問 地域包括支援センター

認知症コールセンター

認知症の人への介護に関する家族の悩み、家族会の情報など認知症に関する様々な相談に、介護の経験者（認知症の人と家族の会の世話人）がお応えする専門相談窓口です。※高知県より委託されている機関です。

問 月～金：10:00～16:00
※土日・祝日・年末年始を除く

医 療

認知症疾患医療センター

認知症に関する専門医療相談として、高知県より圏域毎に委託を受けている医療機関です。精神保健福祉士等の専任の職員が認知症に関する相談に応じます。受診には原則、「かかりつけ医」等からの紹介が必要です。

問 中央圏域：高知鏡川病院（高知市内）
月～金：9:00～16:30

こうちオレンジドクター

かかりつけ医認知症対応向上研修や、認知症サポート医養成研修など、認知症に関する研修を修了した医師であり、診察時のもの忘れや認知症に関する相談の対応、その他の必要な支援を行います。オレンジドクターのいる診療所、病院の窓口には右のマークが表示されています。



かかりつけ医

日常的な診療や健康管理を行い、必要時には、専門医療機関（認知症疾患医療センターなど）の紹介についても相談でき、身近で信頼できる医療機関です。

かかりつけ薬局

薬の飲み方や管理の仕方について相談できます。特に診療科が複数になる場合は、薬による体調の変化を確認していくことが重要となるので「おくすり手帳」を持参してご相談ください。



予 防 ・ 交 流

介護予防事業

① るるん若ガエル体操グループ

各地の公民館など計 73 ヶ所でいの町独自の筋力向上を目的とした体操を、週 1 回以上定期的の実施している集いの場です。参加者間の交流・見守り機能も兼ねています。脳トレとして「頭が若ガエル体操」を一部で実施中です。

② 認知症予防料理教室

天王コミュニティセンターで月 2 回（第 2・4 金曜日の午前中）に実施されている、献立づくりや調理を中心とした認知症予防プログラムの一つです。

問 ①・②ともに地域包括支援センター

ミニデイサービス・サロン

地域のお世話役の支援により、物作りや話をしたり、ゲームをしたりするなど集会所で行われる交流の場です。※町内 61 ヶ所において行われ、地区によって開催回数も異なります。

問 ミニデイ：ほけん福祉課（健康づくり係）

問 サ ロ ン：いの町社会福祉協議会（伊野支部）

あったかふれあいセンター

誰もが気軽に集える場、支え合いの場をつくることを目的にした事業などを行っています。お話サロンや創作クラブなどさまざまな「集い」に関する活動や、独居高齢者への訪問、地域のニーズ調査など地域に出向き、相談内容によって専門機関に「つなぐ」支援も行っています。拠点は伊野地区に 1 ヶ所（すこやかセンター伊野内）、平成 30 年度から吾北地区に 1 ヶ所（吾北山村開発センター内）あります。

問 あったかふれあいセンター

生 活 支 援

認知症サポーター養成講座（人材育成）

認知症について正しく理解、見守り、接することができるよう人材の育成を、地域や学校、職域の開催希望により実施しています。

問 地域包括支援センター

緊急通報システム（安心ネットワーク）

緊急時にボタンを押すと安心センターに通報され、あらかじめ登録している近所の協力員等（2 名以上必要）に連絡などの対応及び安否確認、相談業務が行われます。申請後、訪問等による調査があります。利用時には、緊

生きがい活動支援通所事業

何らかの理由で地元の集いの場に参加できず閉じこもりがちになっている高齢者や障がい者など、一定の要件に該当する方を対象に、地域のボランティアを中心に自主的なグループ活動ができるよう支援しています。

問 地域包括支援センター

老人クラブ

おおむね 60 歳以上の高齢者が地域ごとに多様な自主活動を基盤として、生きがいや健康づくりを目的として活動しています。

問 いの町老人クラブ連合会事務局
（いの町社会福祉協議会 内）

公民館及び集会所活動・サークル活動

サークル活動や交流、イベント、生きがいの場を通し、地域の高齢者が元気に過ごせるようにさまざまな活動を行います。

問 伊野公民館

シルバー人材センター

高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とした団体です。

問 公益社団法人 いの町シルバー人材センター

介護予防・生活支援サービス事業

訪問型サービス、通所型サービスがあります。対象となる方など詳しい内容については、下記にお問い合わせください。

問 地域包括支援センターまたは
ほけん福祉課 高齢福祉係

急通報装置の機器利用料と通話料が必要となります。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

いの町徘徊高齢者等 位置探索システム端末機貸与事業、 いの町徘徊高齢者等家族支援事業

徘徊が気になり始めた方を対象に機器を貸し出し・または貸与し、利用者の位置情報があらかじめ登録しているアドレスへ送信される、万が一に備えるためのサービスです。ペースメーカー装着者は利用できません。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

老人福祉電話設置

低所得の独居高齢者に対して、福祉電話を貸与し、関係機関及び地域住民の協力を得て安否の確認を行います。申請後、訪問等による調査があり、利用時には通話料が自己負担となります。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

民生委員・児童委員

地域の身近な相談役として、相談や助言、情報提供を行い、地域の方々と社会福祉協議会や地域包括支援センターとを繋ぐ役割を担っています。

問 いの町社会福祉協議会（事務局）

老人クラブが行う友愛活動

老人クラブの友愛会員が、高齢者宅を訪問し、話し相手や安否確認を行います。

問 いの町老人クラブ連合会事務局（いの町社会福祉協議会内）

要配慮者・避難行動要支援者名簿への登録

独居高齢者、要介護度3以上の方や一部身体・知的・精神障がい者等の要配慮者を対象に、同意を得た上で町が管理する台帳に登録し、その情報を災害時等に行政関係者や地域の支援関係者、警察、消防らと共有し、日常的な見守りや災害時の避難行動支援に活用します。

問 ほけん福祉課 健康福祉調整係

「食の」自立支援事業（配食サービス）

※利用可能地域が伊野地区の一部

心身の障害や疾患等の理由により調理が困難な高齢者等に配食を実施します。申請後、訪問等による調査があります。利用時には1食につき480円の自己負担が必要です。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

自費ヘルプサービス

介護保険外のヘルパーによる家事支援・身体介護など訪問型サービスです。全額自費ですが、ご本人の希望に合わせて利用時間や内容を調整しやすいのが特徴です。

問 公益社団法人 いの町シルバー人材センター

問 その他民間事業所には、地域包括支援センター

介護タクシー

運転手が介護の資格をもっており、乗降介助等を行うことができるタクシーです。原則予約制となっています。

●高知訪問介護サービス 介護タクシー優花

月～金（土日は予約優先） 8:00～17:30
初乗り 480円（車椅子での乗車は500円加算）
☎ 090-8695-7868

●介護タクシー第一四国 初乗り 480円
（介助料として500円加算） ☎ 893-3217

デマンド式乗合タクシー制度

①定時性デマンド式乗合タクシー制度

小野地区・毛田地区・成山地区～すこやかセンター間、長沢～寺川地区の区間を運行し、地域の実情に応じた交通の利便性を確保しています。片道300～500円で乗車でき事前予約が必要です。

②デマンド式乗合タクシー制度

吾北地区、中追地区、蔭・横藪地区から県北部交通路線バス停留所までの区間を運行し、地域の実情に応じた交通の利便性を確保しています。片道300円で乗車でき事前予約が必要です。

問 ①、②の連絡先 総務課
明神ハイヤー ☎ 892-1179

町営（ぐるりん）バス

すこやかセンターを出発し、波川・池ノ内や天王まわりで運行している循環型バスです。
・運賃は大人200円・小児100円（障がい者手帳等お持ちの方は半額）

問 総務課

過疎地有償運送

登録運転手（一般町民）が自家用車を使う運送サービスです。6km未満は500円、6km以上は1kmあたり100円。年会費1,000円、その他に待時間等で別途料金が必要です。本川地区住民、その親族及び同伴者等が対象です。

問 いの町社会福祉協議会（本川福祉保健センター内）

成年後見制度

認知症や知的・精神障がいなどにより、判断能力が不十分なために「生活」や「財産」を守ることが困難であることに對し、家庭裁判所へ申し立てをして、その方を援助する人を決めてもらう制度です。まずは、下記へご相談ください。

問 地域包括支援センター

介護

●詳しい内容は、担当のケアマネジャー、地域包括支援センター、高齢福祉係にお問い合わせください。

※平成27年度全戸配布の「みんなのあんしん 介護保険 わかりやすい利用の手引き」をご覧ください。なお、紛失された方は、ほけん福祉係にお問い合わせください。

家族支援

認知症カフェ

認知症についての情報交換や、交流、相談のための場です。認知症の方や、ご家族の方、地域の方などどなたでも参加できます。開催箇所が増える予定です。

①さくらカフェ 日時 第2火曜日（10時～12時）
費用 300円（モーニング：割引券配布あり）
小規模多機能型居宅介護事業所 新別の里
☎ 868-2333

②かふえ青空 日時 第2金曜日（14時～17時）
費用 150円（スイーツ・飲み物）
グループホーム・小規模多機能型居宅介護
アビタシオン青空 ☎ 821-7554

在宅高齢者等紙オムツチケット交付事業

要介護2以上の認定を受け、在宅生活を3カ月以上継続し、常時紙オムツを使用している方を対象に、年間上限3万円分の紙オムツチケットを交付します。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

家族介護支援金支給

要介護2以上の方、もしくは要介護2相当であると町長が認めた方を対象に、3カ月以上在宅介護を継続しているいの町に住所を有する介護者へ、月額1万円の支援金を支給します。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

住まい

住宅改造支援事業補助金

（介護保険対象外でも利用可）

居住する住宅を身体状況等に応じて安全かつ利便性に優れたものに改造する費用を補助します。申請には、一定の要件が必要となります。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

シルバーハウス

いの町に住所を有する65歳以上の虚弱な高齢者であり、単身世帯または夫婦等の二世帯（夫婦等のどちらか一方が65歳以上で虚弱である場合を含む）で、現に住宅に困窮している方に入居資格があります。

問 ほけん福祉課 高齢福祉係

生活支援ハウス 朝霧荘

いの町に住所を有するおおむね60歳以上の方で、持家がなく介護できる家族がいない、または家族と同居できない方で軽介助により自分の身の回りのことができる方が入居できる、本川地区の集合住宅です。

問 本川総合支所 住民福祉課

